


名港海運のSDGs

 名港海運株式会社



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS


















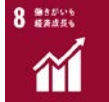

当社は、名古屋港における港湾運送事業を中核とした総合物流企業として、名古屋港トップクラスの倉庫保管スペースと輸送能力を有し、豊富な貨物取り扱い実績を誇ります。

その一方で、昨今の当社を取巻く事業環境は、脱炭素社会の実現を代表とする環境問題やさまざまな社会課題に目を向けずにはいられない状況と強く認識しています。

企業活動のプロセス全般において、社員一人ひとりが「CSRに基づいた行動」と「ESGに配慮した活動」をとることで、「社会の期待」に応えるとともに、SDGsの目標達成にも貢献します。

今後具体的な取組み事項や目標を「名港海運のサステナビリティ」として発信し、ステークホルダーの皆様とともにより一層の会社の安定・成長を図ってまいります。

名港海運の考える重点課題と具体的な取組み

当社の考える重点取組事項		社会課題や当社課題	当社の具体的な取組み例	SDGs目標への貢献
1	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への具体的な取組み 脱炭素社会実現に向けた対応 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境への配慮や資源の保護 CO2排出量の把握と削減に向けた取組み 当社ステークホルダーとの共創 	<ul style="list-style-type: none"> 物流拠点や事業所の一層の省エネ促進 荷役機器や社用車のCO2低排出化の推進 	 
			<ul style="list-style-type: none"> 輸送車両のラウンド輸送やモーダルシフトを提案し、輸送から排出されるCO2削減を推進 	  
2	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続の体制構築 企業、組織レジリエンスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 激甚化する自然災害や南海トラフ地震への備え 国際紛争や感染症による国際物流の混乱 非常時における当社ステークホルダーの事業継続支援 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な状況変化から生じる事業継続への脅威や困難を想定した、実践的なBCP体制の構築と継続的発展 	 
			<ul style="list-style-type: none"> 本社や物流拠点、事業所への非常用発電装置の設置、物流拠点の経年更新時期及びその内容の検討 	 
3	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への貢献 事業を通じた経済への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 港湾エリアにおける地域防災活動への取組み みなとSDGsなどの公的取組みへの積極参加 名古屋港をはじめ、当社の関わる地域の経済成長 	<ul style="list-style-type: none"> 本社や耐震性の高い物流拠点を、自治体が定める津波避難ビルに登録 	  
			<ul style="list-style-type: none"> 当社ステークホルダーとの関わりにおける地域貢献活動の積極参加や寄付行為の実施 	 
4	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の労働生産性の向上 働き方改革から働きがい改革へ 	<ul style="list-style-type: none"> 労働人口減少や、多様な働き手の参画 トラックドライバーと物流の2024年問題 次代を担う社員のCSRやESGに対する意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 業務のICT化や、物流拠点での最新機器導入による従業員の負荷軽減と、省力化・省人化の推進 	  
			<ul style="list-style-type: none"> 物流拠点のトラックバス予約導入や作業改善を推進、輸送車両の待機時間を削減し2024年問題に対応 	 

1. 気候変動への具体的な取組み



西二区物流センター（南）に設置された太陽光パネル

物流拠点や事業所における
一層の省エネ促進



ラウンド輸送やモーダルシフトの推進による
CO2排出量の削減



フェリーによるモーダルシフト輸送

2. 事業継続の体制構築、企業・組織レジリエンスの強化



大規模地震発生を想定した防災模擬訓練

災害のみならず、様々な脅威や困難に対する
実践的なBCP体制の構築



本社や物流拠点、事業所への
非常用発電装置の設置



西二区物流センター（南）に設置された非常用発電装置

3. 地域社会への貢献



津波避難ビルに登録された名港ビルディング

本社を津波避難ビルに登録
耐震性の高い物流拠点を避難場所として提供



ステークホルダーとの関わりにおける
地域貢献や寄付行為の推進



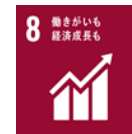
食堂の売上げの一部を食に関するNPO法人に寄付

4. 従業員の労働生産性の向上



バンニング自動搬送機

物流拠点での最新機器導入による省人化と省力化
業務のICT化による従業員の負荷軽減



物流拠点のトラックバース予約導入や作業改善を推進、
輸送車両の待機時間を削減し2024年問題に対応



トラックバース予約システムの導入